

# 月刊 介護保険

介護に携わる人の  
応援マガジン

2011

9

No.187

## 特集 わが街の将来像を描く 事業計画の策定を

厚労省が第5期介護保険事業計画策定で全国会議

### ■ 現地ルポ—自治体編

温泉旅館とサロンをつなげて  
“循環型” 予防事業  
熊本県山鹿市の取り組み

### ■ 現地ルポ—事業者編

利用者も家族も  
穏やかな日々を過ごせるように  
老人総合福祉施設「あくなみ苑」  
(奈良県安堵町)

### ■ レポート

同時改定で医療・介護の  
シームレスな連携を  
日本慢性期医療学会(札幌大会)でシンポジウム

# 車いすでの外出に 勇気をくれた

株式会社SP | あ・える倶楽部  
取締役社長  
篠塚 千弘

PROFILE ●しのづか・ちひろ  
株式会社あ・える倶楽部で要介護や認知症の高齢者の旅  
や外出の希望を叶えるトラベルヘルパーサービスを提供  
している。「親孝行プロジェクト」を展開中。  
感動・感激の介護旅行エピソードがHPには満載です。  
<http://www.aelclub.com>

ご高齢の方の“外出”の目的は、「楽しみのため」「心の励み  
のため」「命をつなぐため」などさまざまです。あ・える倶  
楽部のトラベルヘルパーは、お客様それぞれの目的のた  
めにその方の「想い」に寄り添って、「安心」「安全」「楽しく外  
出」をエスコートするプロのサービス提供者です。今回は  
お客様のお手紙を紹介させていただきます。

2年ぶりに外出され、帝国ホテルのバイキングランチを  
楽しまれたお母様と娘さん。お母様のその後の様子につ  
いて娘さんがお手紙で知らせてくださいました。お母様の想い、  
ご家族の想い、トラベルヘルパーの役割について書いてく  
ださっています。

『先日は思い出に残る素晴らしい1日を演出していただ  
き、本当にありがとうございます。私も妹も母の生き生  
きとした表情を久しぶりに見ることができ、とても嬉しく  
思っております。』

母が車いすに乗るようになってからの初めての遠出でし  
た。とくに日比谷や銀座は、母が若い頃からよく出かけて  
いた思い出深い場所です。

母は外出することを楽しみにしていた反面、車いすでの  
雑踏のなかで、どうにも動くことができなくなってしま  
う自分を想像すると怖かったと思います。不自由な思いを  
して、大好きな思い出の場所を“悲しい思い出の場所”にし  
てしまったのでしょうか。



▲日比谷公園を歩くお母様と娘さん、トラベルヘルパー

私たちがそのことが  
一番の心配でした。「も  
う外出したくない！」そ  
う言われたらどうしよ  
う……と心配していま  
したが、母の不安だけ  
でなく私や妹の不安も  
取り除いてくださっ  
たトラベルヘルパーさ  
んには、本当に感謝の  
気持ちでいっぱいです。

「車いすでの外出は当たり前！」と言わんばかりのトラ  
ベルヘルパーさんの堂々とした態度に、びっくりすると同時  
にとても感動し、母にも、そして私たちにも外出する勇気  
(?)を与えてくれました。

楽しい1日を過ごし、家に戻った母の言葉に私も妹もと  
ても嬉しくなりました。本当にありがとうございます。次回  
は、女子高生時代のお友達と横浜でランチしたいとか……。  
気持ちも若返ったようです。私も負けないようにしなければ!!

～中略～

本当に、本当に皆様に支えられて、母の楽しい思い出を  
作ることができたことに感謝しております』

このようなお手紙が私たちの一番の励みになります。知  
らないし聞いたこともない、あ・える倶楽部やトラベルヘ  
ルパーに「大事な母親の旅行中の介助を任せられるかしら」  
と、私だったら思ってしまうかもしれません。

それでも任せてくださるお客様がいらっしゃる。勇気も  
って信頼し、あ・える倶楽部をご利用くださるお客  
様がいるからこそ、私たちはこうやって、あ・える倶楽部  
の活動や介護旅行、トラベルヘルパーを広めていくために  
がんばれるのです。

私たちはお客様やご家族に支えられていると心から感謝  
しております。トラベルヘルパーをご利用いただいている  
お客様やそのご家族が、これからの超高齢社会の本当の  
リーダーなのかもしれないと強く思うこの頃です。

お  
客  
様  
か  
ら  
の  
感  
謝  
の  
手  
紙  
の  
一  
部

お母様へ  
先日は思い出に残る素晴らしい1日を演出していただき、本当にありがとうございます。私も妹も母の生き生きとした表情を久しぶりに見る事ができ、とても嬉しく思っております。

母が車いすに乗るようになってからの初めての遠出でした。とくに日比谷や銀座は、母が若い頃からよく出かけていた思い出深い場所です。

母は外出することを楽しみにしていた反面、車いすでの雑踏のなかで、どうにも動くことができなくなってしまいう自分を想像すると怖かったと思います。不自由な思いをして、大好きな思い出の場所を“悲しい思い出の場所”にしてしまったのでしょうか。

私たちがそのことが一番の心配でした。「もう外出したくない！」そう言われたらどうしよう……と心配していましたが、母の不安だけでなく私や妹の不安も取り除いてくださったトラベルヘルパーさんには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

楽しい1日を過ごし、家に戻った母の言葉に私も妹もとても嬉しくなりました。本当にありがとうございます。次回は、女子高生時代のお友達と横浜でランチしたいとか……。気持ちも若返ったようです。私も負けないようにしなければ!!

～中略～

本当に、本当に皆様に支えられて、母の楽しい思い出を作ることができたことに感謝しております』